

## 2023 山形県（山形地区）低学年ミニサッカーゲーム② 実施要項

- 1 主催 NPO法人山形県サッカー協会
- 2 主管 山形地区サッカー協会4種委員会
- 3 目的 小学1・2・3年生を対象に定期的なゲーム（5対5or6対6）を実施し、適正なゲーム環境の整備とサッカーを通して心身の健全育成と親睦を図る。
- 4 期日 2023年 8月11日（祝・金）
- 5 会場 山形市球技場
- 6 参加資格 ①公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」）第4種に加盟登録し、スポーツ傷害保険等に加入していること。  
②小学3年生以下の選手で構成されていること。（合同チームの参加も認める）
- 7 チーム構成 ①所属チームで編成が不可の場合、大会事務局が合同チームを編成する。
- 8 試合方法 ①試合時間は12分間とし、試合間のインターバルは8分とする。  
②各チーム、4試合以上確保すること。  
③ピッチマネージャーを1or2名配置し、審判を含め試合の円滑な進行を行う。  
④暑熱下において、適時にCooling Break又は飲水タイムを採用する。
- 9 競技規則 ①本協会「JFA スモールサイドゲームガイドライン」によるが詳細は委員会で決定する。  
②グラウンドの広さは原則33×24mとする。ゴールは2×1mを使用する。  
ペナルティエリア、ゴールエリアは設けないこととする。  
③試合球は持ち寄りとする。  
④1チーム5人または6人の競技者によって行われる。ゴールキーパーは置かないこととする。  
⑤交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。  
⑥ボールがタッチラインを出た場合は、キックインにより再開する。ただし、ピッチマネージャーの判断により、ドリブルインにより再開することができる。  
⑦ゴールキックによる再開は、ゴールライン上からのキックインとする。ただし、ピッチマネージャーの判断により、ドリブルインにより再開することができる。  
⑧オフサイドは適用しないこととする。
- 10 競技者のユニフォーム  
ユニフォームは限定しない。対戦相手が識別出来るようピブスでも可とする。
- 11 ピッチマネージャー  
ピッチマネージャーは、山形地区4種技術委員または当該試合の両チーム指導者各1名の2名を配置することとする。（ピッチマネージャーの配置・役割を参照。）
- 12 参加申込 参加希望チームは、8月6日（日）まで、山形地区4種委員会に参加申込すること。
- 13 参加費 無料とする。
- 14 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について  
①大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。  
②各チームにおいて熱中症予防（対策）及び新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めるものとする。  
③災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。  
（サッカー競技規則2022/2023「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」参照）  
④救急車を呼ぶ場合は、大会本部に連絡の上、会場の山形市球技場（023-674-7096）から呼んでもらうこと。

- 15 その他 ①本大会要項に定めない事項は山形地区4種委員会にて協議のもと決定する。
- 16 問合せ 山形地区4種委員会 ya4shu2018@yahoo.co.jp

## ピッチマネージャーの配置・役割

ゲームは子どもたちのもの。

大人（ピッチマネージャー）の役割は、子どもたちがサッカーのゲームを安全に、健全に、安心してプレーできる環境を作ること。  
子供たちの成長は、サッカーが促してくれます。

ピッチマネージャーの配置：

- ・U-10年代のミニサッカーには、各ピッチにピッチマネージャーを配置する（審判は配置しない）
- ・ピッチマネージャーは、高校生年代でも十分に機能する

ピッチマネージャーの役割：

- ・それぞれのピッチでのスムーズな運営
  - ・セルフジャッジの仲裁
  - ・プレーに対する肯定的なフィードバック・励まし
  - ・フェアプレーの促進
- ・時間・交代・得点の管理  
・配球  
など

## ピッチマネージャーの配置・役割

ピッチマネージャーの配置：

各ピッチに1-2名以上配置できると望ましい。

ピッチマネージャーの役割：

- ① これから行うゲームの参加選手を確認／選手交代の対応
- ② タイムキーパー（全ピッチで一斉開始・終了の場合もあり）
  - ・開始前に作戦会議の時間を取る（ゲーム形式が変わる場合など）
  - ・ゲーム開始
  - ・ゲーム終了
- ③ ゲーム中は基本的に見守る
  - ・プレーが継続しやすいようにボールの準備・配球に気をつける
  - ・選手交代の対応
  - ・肯定的なフィードバック・励まし
  - ・子どもたちのセルフジャッジをうまく促す／フェアプレー推進
  - ・ケガの対応等／欠員が出たら代わって参加
- ④ 次に行うゲームへの誘導